

国やコミュニティの方針に加わらない・加
われない人々もいる。行政の責任でどこま
で強制すべきか、考えていく必要がある。

危ない所に住む方でも、住む家に思い入れがあつて建て
替えは嫌だとか、自己負担には耐えられないとかとなれば、
行政としてはこれ以上立ち入れない。権限に限界がある。
**欧米のように、私権の制限についてもどの程
度まで許容されるべきか検討するべき** (④土居)

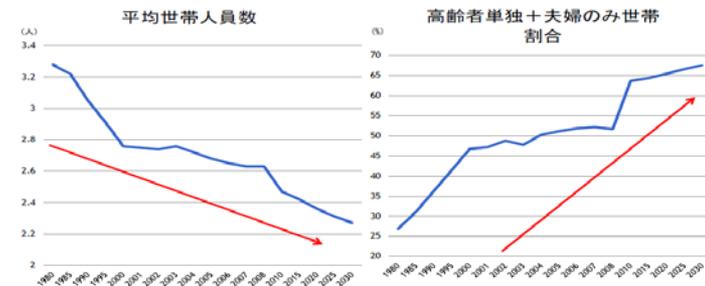
関心が高い人はいいが、**それほど関心が高くない
人達、立ち退き等を勧めてもテコでも動かな
い人達をどうするか。**行政ではとてもできない。常日
頃どういう形で民間の方が入って、地域のコミュニティで取
り込んでいくかが非常に大きい。(④西川G)

コミュニティ継続計画(CCP)の議論で、**地域の皆でラ
ジオ体操するとの紹介があつたが、ラジオ体
操などしたくないという人もいる。**震災でいきなり体
育館に集められて、このように行動できるのか。お金で解決
するなど、都市部なりの解決策があるのか。(④古市)

高齢化で特に厄介なのは、単身高齢者。もっと保険料を
払ってくればきちんと高齢者医療も賄えると言っても、**も
う働けない、財産もない、コミュニティと関わろ
うとしない者がいた時、悲観的に考えれば、行
政は手を差し伸べざるを得ないということに
なってしまうのではないか** (⑧土居)



第52回1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭の様
様 (出典: かんぽ生命HP)



世帯人数は減少し、高齢者のみの世帯割合が増えていく
(出典: 第8回懇談会 武藤真祐さん資料)